

学生グローバルコンピテンスワークショップを開催しました

12月10日（土）基礎工学研究科国際棟（Σホール）において阪神地区大学国際化推進ネットワーク（大阪大学、関西大学、関西学院大学、神戸大学）主催による「学生グローバルコンピテンスワークショップ」を開催しました。

本学の高橋 明理事・副学長の挨拶から始まり、柿花 健太郎氏（パナソニック株式会社）による講演「日本企業のグローバル化と求められる人材について」ーパナソニックの事例紹介ーが行われ、企業の求めるこれからのグローバル人材像が述べられました。引き続き4大学の学生で組織された学生実行委員会によるプレゼンテーションが行われました。その後、本学国際教育交流センター副センター長有川 友子教授をファシリテーターとして、柿花 健太郎氏、射場 みのり氏（株式会社高島屋）、阿久根 昌夫氏（大学コンソーシアムひょうご神戸）、4人の学生実行委員会代表を交えたパネルディスカッションが行われ、企業の求めるグローバル人材像とそれに対する学生の意見交換が行われました。

日本人学生からは海外に出て初めて日本が世界からどのように思われているか理解できたこと、留学生からは日本は住みやすい国だが、海外に積極的に出かけることにより、グローバルな視野が養われる等の意見も語られ、また、会場フロアからも質問が寄せられ、多数の学生、教職員等の参加を得て盛会裏に閉会となりました。



柿花氏と学生との質疑応答



パネルディスカッション